#### 会 社 概 要 (2005年3月31日現在)

商 号 シミック株式会社 設 立 1985年 資 本 金 3,081,750千円 本社所在地 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル 従業員数 1,058名

( 連 結 ) 272名(平均臨時雇用者数) 事 業 所 北海道支社 東北支社 北陸支社 名古屋支社 大阪支社 中国支社 九州支社

グループ会社 シミック CRC(k) (株) シミック BS (連結子会社) (株) シミック MPSS (株) シミック ADC

CMIC Korea Co., Ltd. PCN (株) CMIC (Beijing) Co., Ltd. (株)応用医学研究所 エムディエス(株) (株)シミックCP

#### 役 員 (2005年3月31日現在)

代表取締役会長兼社長 中村和男 代表取締役副社長 取締役副社長CRO事業担当 取締役副社長事業開発担当 中村圭子 取締役副社長法務担当 安田利正 取締役戦略・薬事コンサルティング担当 取締役(社外) 内 山 明 好 監査役(常勤) 中野信介 監査役(非常勤) 監査役(非常勤) 種房俊二

# シミック株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-10-4 金剛ビル Tel 03-5745-7070 (代) Fax 03-5745-7077 http://www.cmic.co.jp/

Printed with Soy Ink.
Printed on recycled paper.

# 株式の状況 (2005年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 — 2,300,000株 発行済株式総数 — 754,600株 株主数 — 6,902名

## 大株主

株主名					持株数(株)	議決権比率(%)
(株) ア	ル	テ	3	ス	315,010	41.74
中	村	和		男	57,890	7.67
資産管理	! サーヒ	ス信	託 銀 行	(株)	29,200	3.86
日本トラス	、ティ・サ	ービス作	言託銀行	<b>-</b> (株)	21,820	2.89
みずほ	+ +	ピ	タル	(株)	17,600	2.33
シミッ	ク従	業員	持 株	숲	13,540	1.79
日 本	証 券	金	融	(株)	12,280	1.62
	マンハッ:				10,170	1.34
野 村	信 訊	銀	行	(株)	10,070	1.33
市	Ш	宏		司	7,000	0.92

- (注) 1. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下第3位を切り捨てております。
  - 2. 上記株主の所有株式数のうち、信託業務にかかる株式数は次のとおりであります。

資産管理サービス信託銀行(株) 29,200株 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 21,820株 野村信託銀行(株) 10,070株

#### 株主メモ

決 算 期 日 毎年9月30日 定時株主総会 毎年12月 配当金受領の株主確定日 9月30日 中間配当を実施するときは3月31日 日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して 臨時に基準日を定めます。 公告掲載紙 日本経済新聞 決算公告につきましては貸借対照表および損益計 算書を当社ホームページに掲載しております。 http://www.cmic.co.jp/ 名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 郵 便 物 送 付 先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話お問合せ先 電話0120-288-324(フリーダイヤル) 同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店



第21期 中間事業報告書 2004年10月1日~2005年3月31日



代表取締役会長兼社長CEO 中村 和男

株主の皆様には、日ごろより格別のご支援を賜り、厚 く御礼申し上げます。

当社グループは、「EBM(科学的根拠に基づいた医療) の確立に貢献する企業 | を企業理念として、製薬企業の 医薬品開発の支援と製造販売後調査及び医薬品のマーケ ティング支援を中核に、製薬企業を支援するビジネスを 中心に事業を展開しております。当社グループを取り巻 く環境は、「医療費抑制と製薬企業のグローバル化」「薬 事法改正 | 「新技術基盤に基づく創薬ベンチャーの台頭 | により大きく変動しようとしております。こうした中で、

コアとなる臨床試験支援業務に加え、新しく前臨床業務 を開始した結果、当中間期の売上高は、6.435百万円 (前年同期比31.2%增)、経常利益626百万円(前年同 期比24.1%增)、中間純利益269百万円(前年同期比 54.4%増)となりました。

通期の見通しは、売上高14.184百万円(前期比 31.4%增)、経営利益1.333百万円(前期比8.6%增)、 当期純利益592百万円(前期比5.4%増)を見込んでお ります。

今年4月の改正薬事法施行は、当社グループにとって 大きな好機と捉えております。CRO市場は①製薬企業 の業態変化・バイオベンチャーの台頭などによるアウト ソーシングの増加、②安全性情報・マーケティング支援 業務のニーズの高まり、③医療機器・特定保健用食品向 け支援業務の拡大などを背景に、一層拡大すると予測さ れます。

このような事業環境のもと、当社グループは従来から 強みとするモニタリング業務を中心とした開発支援業務 に加え、重要性が高まりつつある安全性情報(副作用情 報など)管理業務や、マーケティング支援業務にも注力 し、顧客満足度の高い支援業務を推進しております。

今後とも株主の皆様にご満足いただけるよう企業努力 を続けてまいりますので、より一層のご支援ご鞭撻を賜 りますようお願い申し上げます。

# マーケティング戦略支援業務の強化

当社グループは、クライアントである製薬企業か らマーケティングに係る業務支援の要望が今後一層 増えると想定し、医薬品のマーケティング戦略支援 業務の強化を図っております。株式会社シミック MPSSでは既に2002年からマーケティング戦略の策 定支援を行っております。これに加えて今年からは、 新たにグループに加えたエムディエス株式会社におい て、医薬品の販促資材の制作をはじめとする、メデ ィカルコミュニケーション事業を展開しております。 今後とも、これらの事業を促進し、クライアントに 対して効果的な医薬品のマーケティング戦略の支援 を行ってまいります。

#### ■エムディエスのメディカル・コミュニケーション事業

# Advertising& Promotion

医療用医薬品販売促進における コミュニケーション・プランの立案

Symposia

MR Training

MR教育研修資材の

企画·制作

当中間期の動向

Meetings& 広告、販促資材の Academic Service 医学文献の執筆・翻訳・投稿

などの医薬学術業務

サポートサービス

国内・海外医学会取材 医師座談会等の コーディネーションから情報提供資材の制作

MDS

エムディエス株式会社

Patient

Medical Communication Agency

Journal& **Publication** 定期刊行物、PR誌等の

企画·編集·制作·発行

Medical Education Education 医師・医療関係者への

情報提供資材の企画・制作 広告・教育資材の企画・制作

# 安全性情報管理業務の拡大

今年4月、改正薬事法の施行により、医薬品の承 認制度が「製造承認」から「製造販売承認」になり ました。これに伴って品質と安全性の管理責任が明 確になったため、新薬の販売者にとって「患者さん の健康被害発生等を防止するための体制しの整備が、 重要なファクターとなりました。当社グループは、国 内外の安全性情報を365日収集できる体制を整えて おります。従って、安全性情報管理にかかる費用の 削減に努める製薬企業に貢献できるものと考えてお ります。そして当社グループは、複数の製薬企業か ら安全性情報管理業務を受託することによって、生 産性の高いビジネスとして展開することができます。 当社グループが2002年に業界初の安全性情報専門部 署を設置して3年、実績を活かして更に業務の拡大 を推し進めてまいります。

# ■安全性情報管理の重要性

リスクマネジメントと同義語

Good Pharmacovigilance & Risk Management Practice

1 CMIC Interim Report 2005

流動資産合計

有形固定資産

無形固定資産

投資その他の資産

固定資産合計

資産合計

●売上高

6 000

4.000

2.000

2002/9

2003/9

固定資産

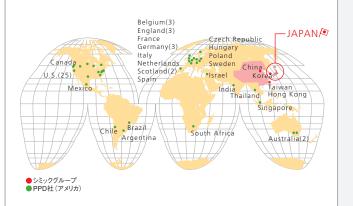
資産の部

(単位:千円)

# 世界第3位のCROと提携

2005年2月、当社は世界27カ国に6.600人の従業 員数を有する世界第3位のCROであるPPD社と業務 提携契約を締結しました。日本を中心に韓国・中国 に拠点を持つ当社グループが、南北アメリカ・欧州 を中心に広範囲の新薬開発支援拠点を持つPPD社と 協力体制を築くことにより、グローバル試験の受託 機会の拡大が見込まれます。また、国内製薬企業に 対しては海外における新薬候補品の探索やバイオベ ンチャーの紹介・連携支援など、海外における全方 位的なビジネス展開の支援が可能となります。

## ■グローバル展開拠点



# 「ヘルスケアコミュニティー開設

PCN株式会社は、2005年2月から健康ポータルサ イト『health クリック(http://www.health.ne.jp/)』 にて、会員用掲示板「ヘルスケアコミュニティ」コ ーナーを開設いたしました。『health クリック』は、 生活習慣病を始め様々な疾患の予防を目的とした健 康情報を提供する、月450万ページビュー、ユニー クユーザ数70万人を持つ日本で最大級の健康ポータ ルサイトです。対象疾病・機能別カテゴリを通じて、 同じ健康情報・同じ疾病情報に関心のあるユーザ同 士のコミュニケーションの拡大に役立ちます。

## ■健康・疾患情報サイト



http://www.health.ne.jp/

## 中間連結貸借対照表(要旨)

		_			
(単位	•	千	ш	١.	

当中間期 前中間期

7.762.292

720,665

1,196,104

893.765

2.810.536

10.572.828

2005年3月31日現在 2004年3月31日現在 2004年9月30

4.950.231

415,097

128,095

599,806

1,142,999

6.093.231 10.344.312

(単位:千円)			
前期 2004年9月30日現在	科 目		
	負債の部		
	流動負債合計		
7,898,233	固定負債合計		
	負債合計		
	少数株主持分		
686,944	少数株主持分		
	資本の部		
1,049,177	資本金		
	資本剰余金		
709,957	利益剰余金		
2,446,078	為替換算調整勘定		
	資本合計		

負債、少数株主持分

(単位:百万円/%)

2005/3

及び資本合計

● 経常利益/売上高経常利益比率

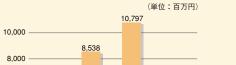
1,227



△ 2.719

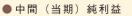
8.015.983

10,572,828



2004/9







676

3,816,364

 $\triangle$ 

6,093,231 10,344,312

867

7,894,525

#### 3 CMIC Interim Report 2005

#### 中間連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当中間期 2004年10月1日から 2005年3月31日まで		前 期 2003年10月1日から 2004年9月30日まで
売上高	6,435,370	4,905,815	10,797,402
売上原価	4,494,709	3,457,098	7,548,691
売上総利益	1,940,660	1,448,717	3,248,710
販売費及び一般管理費	1,330,232	940,838	2,009,502
営業利益	610,427	507,878	1,239,207
営業外収益	20,946	5,236	15,459
営業外費用	4,465	7,967	26,733
経常利益	626,909	505,147	1,227,933
特別利益	_	_	497
特別損失	13,591	119,263	121,802
税金等調整前 中間 (当期) 純利益	613,318	385,884	1,106,628
法人税、住民税 及び事業税	379,529	261,317	632,883
法人税等調整額	△ 28,154	△ 47,526	△ 89,019
少数株主利益	_	_	511
少数株主損失	7,862	2,696	
中間(当期)純利益	269,806	174,789	562,253

## 中間連結剰余金計算書

(単位:千円)

科目		前中間期 2003年10月1日から 2004年3月31日まで	
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	3,326,990	1,461,370	1,461,370
資本剰余金中間期末(期末)残高	3,326,990	1,461,370	3,326,990
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	1,486,653	1,066,294	1,066,294
利益剰余金増加高	269,806	174,789	562,253
利益剰余金減少高	146,496	102,825	141,894
利益剰余金中間期末(期末)残高	1,609,962	1,138,257	1,486,653

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

			(年四・111)
科目	当中間期 2004年10月1日から 2005年3月31日まで	前中間期 2003年10月1日から 2004年3月31日まで	前期 2003年10月1日から 2004年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	311,374	401,660	314,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 434,111	△ 343,342	△1,692,647
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 47,096	129,738	3,294,142
現金及び現金同等物に係る 換算差額	559	△ 2,604	△ 1,300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	△ 169,274	185,450	1,914,512
現金及び現金同等物の期首残高	4,421,454	2,506,942	2,506,942
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	4,252,179	2,692,393	4,421,454

#### 中間個別貸借対照表(要旨)

(畄位・千円)

			(年位・11]/
科目	当中間期 2005年3月31日現在	前中間期 2004年3月31日現在	前期 2004年9月30日現在
資産の部			
流動資産	6,223,839	4,322,106	6,373,348
固定資産	3,232,146	1,372,400	2,999,449
資産合計	9,455,985	5,694,507	9,372,797
負債の部			
流動負債	1,091,648	1,547,394	1,220,937
固定負債	200,450	205,844	174,057
負債合計	1,292,099	1,753,239	1,394,995
資本の部			
資本金	3,081,750	1,216,060	3,081,750
資本剰余金	3,326,990	1,461,370	3,326,990
利益剰余金	1,755,146	1,263,837	1,569,062
資本合計	8,163,886	3,941,267	7,977,802
負債•資本合計	9,455,985	5,694,507	9,372,797

# 中間個別損益計算書

(単位:千円)

			(+1-11
科目		前中間期 2003年10月1日から 2004年3月31日まで	
売上高	3,853,941	3,476,467	7,489,322
売上原価	2,657,588	2,468,415	5,246,748
売上総利益	1,196,352	1,008,051	2,242,573
販売費及び一般管理費	705,799	580,714	1,175,196
営業利益	490,553	427,336	1,067,376
営業外収益	69,792	32,923	43,269
営業外費用	611	4,078	26,747
経常利益	559,733	456,181	1,083,899
特別利益	_	_	497
特別損失	2,879	108,006	110,406
税引前中間(当期)純利益	556,853	348,174	973,990
法人税、住民税及び事業税	254,730	184,612	486,866
法人税等調整額	△ 10,457	△ 23,040	△ 43,772
中間(当期)純利益	312,580	186,602	530,896
前期繰越利益	334,865	269,534	269,534
中間(当期)未処分利益	647,446	456,137	761,362

# ••• POINT

# ①中間連結損益計算書

当中間期売上高は前年同期比31%増の 6,435百万円となりました。今期より前 臨床業務が加わり、当中間期では568百 万円の売上を計上しています。

# ②中間連結貸借対照表

成長に向けた投資を実行しました。マーケティング支援業務の営業権、health クリックや病診連携支援システム『連携くん』ソフトウェアの取得などがあります。

# ③受注の状況

当中間期受注高は6,686百万円、受注 残高は14,453百万円となりました。期 末の受注残高は15,104百万円を想定し ております。

# ④ 通期見通し(連結)

通期売上高は前期比31%増の14,184 百万円、経常利益は前期比9%増の 1,333百万円、当期純利益は前期比5% 増の592百万円を見込んでおります。